

日本国特許庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

1c892 U.S.P.T.O.  
09/672476  
09/29/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.

出願年月日  
Date of Application:

2000年 7月11日

出願番号  
Application Number:

特願2000-210217

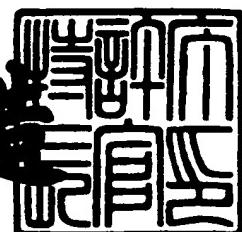
願人  
Applicant(s):

株式会社日本コンラックス

2000年 8月25日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕三



【書類名】 特許願  
【整理番号】 12026  
【あて先】 特許庁長官殿  
【国際特許分類】 G06F 1/00  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町2丁目2番2号 株式会社日本コンラックス内  
【氏名】 太田 通博  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町2丁目2番2号 株式会社日本コンラックス内  
【氏名】 吉田 裕昭  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町2丁目2番2号 株式会社日本コンラックス内  
【氏名】 品田 裕昭  
【特許出願人】  
【識別番号】 000152859  
【氏名又は名称】 株式会社日本コンラックス  
【代理人】  
【識別番号】 100071054  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 木村 高久  
【先の出願に基づく優先権主張】  
【出願番号】 平成11年特許願第280034号  
【出願日】 平成11年 9月30日  
【手数料の表示】  
【予納台帳番号】 006460  
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】	明細書 1
【物件名】	図面 1
【物件名】	要約書 1
【プルーフの要否】	要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 プロモーション方法およびシステム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 商品の販売に伴ってポイントを発行することで商品の販売促進を行うプロモーション方法において、

商品の販売に際して所定のポイントに関するポイント情報を利用者に提示し

該利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともにセンタ装置へ送信し、

前記センタ装置は、該送信されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理し、

該利用者に対応して記憶管理されたポイントに基づき前記利用者に対して所定のサービスを提供する

ことを特徴とするプロモーション方法。

【請求項2】 前記ポイント情報の提示は、

ポイント発行装置により行われる

ことを特徴とする請求項1記載のプロモーション方法。

【請求項3】 前記ポイント情報は、前記ポイント発行装置に関するモジュールコードと、前記ポイントに関するシークレットコードとを含み、

前記モジュールコードおよび前記シークレットコードのうち少なくともシークレットコードは、暗号化されて前記利用者に提示される

ことを特徴とする請求項2記載のプロモーション方法。

【請求項4】 前記ポイント情報の提示は、

前記ポイント発行装置に接続された表示器に前記ポイント情報を表示することにより行われる

ことを特徴とする請求項2記載のプロモーション方法。

【請求項5】 前記ポイント情報の提示は、

前記ポイント発行装置から前記ポイント情報を所定の用紙に印刷出力することにより行われる

ことを特徴とする請求項2記載のプロモーション方法。

【請求項6】 前記ポイント情報の提示は、

前記ポイント発行装置と前記利用者の通信機器との間の通信により前記ポイント情報を前記通信機器へ入力することにより行われることを特徴とする請求項2記載のプロモーション方法。

【請求項7】 前記通信機器は、

前記利用者の携帯する携帯電話機を含み、  
前記通信機器への前記ポイント情報の入力は、  
前記ポイント発行装置と前記携帯電話機との間の有線通信、無線通信、赤外線通信、音声通信のいずれかを用いて行われることを特徴とする請求項6記載のプロモーション方法。

【請求項8】 前記シークレットコードは、

ポイント発行番号を少なくとも含み、  
前記センタ装置は、  
前記ポイント発行番号に基づき該ポイント情報の二重使用を判別することを特徴とする請求項3記載のプロモーション方法。

【請求項9】 前記モジュールコードは、

前記ポイント発行装置を識別するコード情報からなり、  
前記センタ装置は、  
前記モジュールコードに基づき前記ポイント発行装置若しくは前記ポイント発行装置が設けられた前記商品の販売を行う機器の少なくとも一方の状態を管理する

ことを特徴とする請求項2記載のプロモーション方法。

【請求項10】 前記センタ装置は、

前記利用者から送信された当該利用者の識別情報に基づき前記利用者を管理する

ことを特徴とする請求項1記載のプロモーション方法。

【請求項11】 前記センタ装置は、

前記利用者からの要求により当該利用者に対応して記憶管理しているポイント

情報の閲覧を許可する

ことを特徴とする請求項1記載のプロモーション方法。

【請求項12】商品の販売に伴ってポイントを発行することで商品の販売促進を行うプロモーションシステムにおいて、

前記商品の販売を行う機器に設けられ、商品の販売に際して所定のポイントに関連するポイント情報を当該システムの利用者に提示するポイント発行手段と、

前記ポイント発行手段で提示されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理するセンタ装置と、

前記ポイント発行手段で提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともに前記センタ装置へ送信する通信手段と、

前記センタ装置に設けられ、前記通信手段により送信されたポイント情報を解読して該ポイント情報に対応するポイントで前記利用者に対応して記憶管理されたポイントを更新する更新手段と、

前記該利用者に対応して記憶管理されたポイントに基づき前記利用者に対して所定のサービスを提供するサービス提供手段と

を具備することを特徴とするプロモーションシステム。

【請求項13】前記ポイント情報は、

前記ポイント発行手段を識別するモジュールコードと、前記ポイントに関連するシークレットコードとを含み、

前記ポイント発行手段は、

前記モジュールコードおよび前記シークレットコードのうち少なくともシークレットコードを暗号化して前記利用者に提示する

ことを特徴とする請求項12記載のプロモーションシステム。

【請求項14】前記ポイント発行手段は、

前記ポイント情報を該ポイント発行手段に接続された表示器に表示することにより前記利用者に対する前記ポイント情報の提示を行う

ことを特徴とする請求項12記載のプロモーションシステム。

【請求項15】前記ポイント発行手段は、

前記ポイント情報を該ポイント発行手段に設けられた印刷手段で所定の用紙に

印刷出力することにより前記利用者に対する前記ポイント情報の提示を行うことを特徴とする請求項12記載のプロモーションシステム。

【請求項16】 前記ポイント発行手段は、

前記ポイント発行手段と前記通信手段との間の通信により前記ポイント情報を前記通信手段に入力する入力手段

を具備することを特徴とする請求項12記載のプロモーションシステム。

【請求項17】 前記通信手段は、

前記利用者の携帯する携帯電話機を含み、

前記入力手段は、

前記ポイント情報を前記携帯電話機へ有線通信、無線通信、赤外線通信、音声通信のいずれかを用いて入力する

ことを特徴とする請求項16記載のプロモーションシステム。

【請求項18】 前記シークレットコードは、

ポイント発行番号を少なくとも含み、

前記センタ装置は、

前記ポイント情報に含まれるポイント発行番号に基づき該ポイント情報の二重使用を判別する

ことを特徴とする請求項13記載のプロモーションシステム。

【請求項19】 前記センタ装置は、

前記モジュールコードに対応して前記ポイント発行手段若しくは前記ポイント発行手段が設けられた前記商品の販売を行う機器の少なくとも一方の状態を記憶管理する機器データベース

を具備する

ことを特徴とする請求項13記載のプロモーションシステム。

【請求項20】 前記センタ装置は、

前記利用者から送信された当該利用者の識別情報に対応して前記利用者の当該システムの利用状況を記憶管理する利用者データベース

を具備する

ことを特徴とする請求項12記載のプロモーションシステム。

【請求項21】 前記センタ装置は、

前記利用者からの要求により当該利用者に対応して記憶管理しているポイント情報を当該利用者に閲覧させる閲覧手段  
を具備する

ことを特徴とする請求項12記載のプロモーションシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、商品の販売に伴ってポイントを発行することで商品の販売促進を行うプロモーション方法およびシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、特定商品のプロモーション等において、商品の販売毎にポイントを発行し、当該商品の購入者がポイントを収集して景品等と交換するといったことが行われている。

【0003】

ここで、ポイントの発行は、各購入者が所有するカードに対してスタンプを押印したり磁気的な記録を行うものや、商品にシール等を貼付しておき、購入者がこのシールを収集する形式のものがある。

【0004】

しかし、カードを用いる場合には、予めカードを製造して配布する必要があり、また、商品にシールを貼付する場合には、ポイント付与の対象となる全ての商品にシールを貼付する必要があり、販売者の要する手間や費用が大きなものであった。

【0005】

また、購入者側にとっても、カードを用いる場合には購入者がカードを携帯する必要があり、シールを利用する場合には購入者が収集したシールを台紙に貼つて管理する必要がある。

【0006】

特に、自動販売機で購入した清涼飲料水のように必ずしも自宅に持ち帰るとは限らない商品に貼付されたシールを収集するには、シールのみを別途持ち帰るか、台紙を常に持ち歩く必要があり、さらにポイントによるサービスを受けようとする場合には、カードやシールを貼付した台紙を販売者に郵送する等が必要となり、多大な手間と費用を要するものであった。

## 【0007】

## 【発明が解決しようとする課題】

上述したように、商品にシール等を貼付してポイントを発行する形式のものは、販売者と購入者の両者ともにポイントの処理に多大な手間を要しており、各購入者が所有するカードに対してポイントを加算していく形式のものでは、自動販売機でのポイント発行が困難であるとともに、当該商品の製造者の主催で行う全国規模のプロモーションへの対応も困難であった。

## 【0008】

また、いずれの場合においても、プロモーションの主催者側によるポイントの回収および集計の作業にも多大な手間を要していた。

## 【0009】

そこで、この発明は、ポイントの発行および収集、回収、集計の各処理を容易に行うことのできるプロモーション方法およびシステムを提供することを目的とする。

## 【0010】

## 【課題を解決するための手段】

この発明のプロモーション方法は、商品の販売に伴ってポイントを発行することで商品の販売促進を行うプロモーション方法において、商品の販売に際して所定のポイントに関するポイント情報を利用者に提示し、該利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともにセンタ装置へ送信し、前記センタ装置は、該送信されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理し、該利用者に対応して記憶管理されたポイントに基づき前記利用者に対して所定のサービスを提供することを特徴とする。

## 【0011】

ここで、前記ポイント情報の提示は、ポイント発行装置により行われるよう構成することができ、前記ポイント情報は、前記ポイント発行装置に関連するモジュールコードと、前記ポイントに関連するシークレットコードとを含み、前記モジュールコードおよび前記シークレットコードのうち、少なくともシークレットコードは、暗号化されて前記利用者に提示されるように構成することができる。

【0012】

また、このポイント発行装置によるポイント情報の提示は、前記ポイント発行装置に接続された表示器に該ポイント情報を表示する若しくは前記ポイント発行装置から該ポイント情報を所定の用紙に印刷出力することにより行われる。

【0013】

また、前記ポイント情報の提示は、前記ポイント発行装置と前記利用者の通信機器との間の通信により前記ポイント情報を前記通信機器へ入力することにより行うことができる。

【0014】

ここで、前記通信機器は、前記利用者の携帯する携帯電話機を含み、前記通信機器への前記ポイント情報の入力は、前記ポイント発行装置と前記携帯電話機との間の有線通信、無線通信、赤外線通信、音声通信のいずれかを用いて行うことができる。

【0015】

また、前記シークレットコードは、ポイント発行番号を少なくとも含み、前記センタ装置は、前記ポイント発行番号に基づき該ポイント情報の二重使用を判別する。

【0016】

また、前記モジュールコードは、  
前記ポイント発行装置を識別するコード情報からなり、  
前記センタ装置は、  
前記モジュールコードに基づき前記ポイント発行装置若しくは前記ポイント発行装置が設けられた前記商品の販売を行う機器少なくとも一方の状態を管理する

ことを特徴とする。

【0017】

また、前記ポイント情報は、前記ポイント発行装置を識別するモジュールコードを少なくとも含み、前記センタ装置は、前記ポイント情報に含まれるモジュールコードに基づき前記ポイント発行装置が設けられた前記商品の販売を行う機器の状態を管理することを特徴とする。

【0018】

また、前記センタ装置は、前記利用者から送信された当該利用者の識別情報に基づき前記利用者を管理することを特徴とする。

【0019】

また、前記センタ装置は、前記利用者からの要求により当該利用者に対応して記憶管理しているポイント情報の閲覧を許可することを特徴とする。

【0020】

また、この発明のプロモーションシステムは、商品の販売に伴ってポイントを発行することで商品の販売促進を行うプロモーションシステムにおいて、前記商品の販売を行う機器に設けられ、商品の販売に際して所定のポイントを表わすポイント情報を当該システムの利用者に提示するポイント発行手段と、前記ポイント発行手段で提示されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理するセンタ装置と、前記ポイント発行手段で提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともに前記センタ装置へ送信する通信手段と、前記センタ装置に設けられ、前記通信手段により送信されたポイント情報を解読して該ポイント情報に対応するポイントで前記利用者に対応して記憶管理されたポイントを更新する更新手段と、前記該利用者に対応して記憶管理されたポイントに基づき前記利用者に対して所定のサービスを提供するサービス提供手段とを具備することを特徴とする。

【0021】

ここで、前記ポイント情報は、

前記ポイント発行手段を識別するモジュールコードと、前記ポイントに関連するシークレットコードとを含み、前記ポイント発行手段は、前記モジュールコー

ドおよび前記シークレットコードのうち少なくともシークレットコードを暗号化して前記利用者に提示することを特徴とする。

【0022】

また、前記ポイント発行手段は、前記ポイント情報を該ポイント発行手段に接続された表示器に表示することにより前記利用者に対する前記ポイント情報の提示を行うことを特徴とする。

【0023】

また、前記ポイント発行手段は、前記ポイント情報を該ポイント発行手段に接続された印刷手段で所定の用紙に印刷出力することにより前記利用者に対する前記ポイント情報の提示を行うことを特徴とする。

【0024】

また、前記ポイント発行手段は、前記ポイント発行手段と前記通信手段との間の通信により前記ポイント情報を前記通信手段に入力する入力手段を具備することを特徴とする。

【0025】

また、前記通信手段は、前記利用者の携帯する携帯電話機を含み、前記入力手段は、前記ポイント情報を前記携帯電話機へ有線通信、無線通信、赤外線通信、音声通信のいずれかを用いて入力することを特徴とする。

【0026】

また、前記シークレットコードは、ポイント発行番号を少なくとも含み、前記センタ装置は、前記ポイント情報に含まれるポイント発行番号に基づき該ポイント情報の二重使用を判別することを特徴とする。

【0027】

また、前記センタ装置は、前記モジュールコードに対応して前記ポイント発行手段若しくは前記ポイント発行手段が設けられた前記商品の販売を行う機器の少なくとも一方の状態を記憶管理する機器データベースを具備することを特徴とする。

【0028】

また、前記センタ装置は、前記利用者から送信された当該利用者の識別情報に

対応して前記利用者の当該システムの利用状況を記憶管理する利用者データベースを具備することを特徴とする。

【0029】

また、前記センタ装置は、前記利用者からの要求により当該利用者に対応して記憶管理しているポイント情報を当該利用者に閲覧させる閲覧手段を具備することを特徴とする。

【0030】

【発明の実施の形態】

以下、この発明に係るプロモーション方法およびシステムの一実施の形態を添付図面を参照して詳細に説明する。

【0031】

図1は、この発明を自動販売機に適用した場合のプロモーションシステムの概略構成を示すブロック図である。

【0032】

図1において、このプロモーションシステムは、商品の販売とポイントの発行を行う自動販売機1と携帯電話機2、ポイントの管理を行うセンタ装置3とを具備して構成される。

【0033】

ここで、自動販売機1は、販売した商品の種別や数に応じてポイント情報を発行する。そして、購入者は、この発行されたポイント情報を自身の所有する携帯電話機2を使用してセンタ装置3に送信する。

【0034】

センタ装置3では、受信したポイント情報の真偽等を確認した後に、当該ポイント情報を記憶して管理する。

【0035】

さらに、利用者の要求に応じ、記憶管理されたポイント情報に基づき、当該ポイント情報が示すポイント数に対応した、あるいは、当該ポイント情報が示すサービス内容に対応した所定のサービスを提供する。

【0036】

なお、詳細は後述するが、ポイント情報の送信は、必ずしも携帯電話機2で行う必要があるわけではなく、一般的な電話機やインターネット等に接続されたコンピュータ等から送信することも可能である。

## 【0037】

まず、図1に示した自動販売機1の構成について説明する。

図2は、図1に示した自動販売機1の構成を示すブロック図である。

## 【0038】

図2に示すように、自動販売機1は、主制御部11とポイント情報生成部12、ポイント情報表示部13、キーボード端末部14、硬貨処理部15、紙幣処理部16、商品搬送部17、コラム18（18-1乃至18-n）を具備して構成される。

## 【0039】

主制御部11は、各部を制御して商品の販売やポイントの発行を制御する。ポイント情報生成部12は、主制御部11からの制御信号に基づいてポイント情報を生成し、このポイント情報生成部12が生成したポイント情報は、ポイント情報表示部13で可視情報（文字列等）として表示される。

## 【0040】

キーボード端末部14は、販売する商品の価格等の各種設定を行うものである。硬貨処理部15は、商品の対価となる硬貨の受入や釣り銭の返却を行い、紙幣処理部16は、紙幣の受入等の処理を行う。商品搬送部17は、主制御部11の制御信号に基づいて商品の排出処理を行い、コラム18に格納されている商品の排出を制御する。コラム18は、各々商品を格納している。

## 【0041】

ここで、自動販売機1におけるポイント発行処理について説明する。

ポイント発行処理は、ポイント情報生成部12が主制御部11からの制御信号に基づいてポイント情報を生成し、このポイント情報をポイント情報表示部13に表示することで行われる。

## 【0042】

主制御部11は、商品の購入があった際にポイントの発行をポイント情報生成

部12に指示するが、この指示は、コラム18毎、つまり、販売する商品毎に行うか否かを設定しておくことができる。

## 【0043】

また、主制御部11は、複数の商品が購入された際に、その購入数に応じたポイントを発行するようにポイント情報生成部12に指示を出すように設定することもできる。

## 【0044】

ポイント情報生成部12が生成するポイント情報は、センタ装置3（図1）でその真偽を確認できるものであれば、どのようなものでもよいが、例えば、図3に示すような方法で生成される。

## 【0045】

すなわち、ポイント情報生成部12は、図3に示すように、当該システムに固有の情報（システムコード等）Aと、発行したポイントに固有の情報（ポイント発行番号等）Bを、所定の暗号鍵に基づいて暗号化してポイント情報Cを生成し、これをポイント情報表示部13に可視化して表示する。

## 【0046】

その後、購入者がこの表示された情報Cを携帯電話機2によりセンタ装置3に送信する。

## 【0047】

ポイント情報C'（真正ならばポイント情報Cと同一のもの）を受信したセンタ装置3では、所定の復号鍵を用いて、情報A' と情報B' を取得する。

## 【0048】

次に、情報A' と予めセンタ装置3に記憶してある当該システムに固有の情報（システムコード等）Aとを比較することにより当該ポイント情報の真偽を確認する（真偽判定）。

## 【0049】

さらに、情報B' をセンタ装置3で管理しているポイント発行番号データベースから検索して未使用か否かを確認することになる（二重使用判定）。

## 【0050】

次に、携帯電話機2によるポイント情報の送信とセンタ装置3での処理について説明する。

図4は、センタ装置3の構成を示すブロック図である。

#### 【0051】

図4に示すように、センタ装置3は、ネットワーク処理部31、データ処理部32、音声処理部33、ポイント確認部34、ポイント処理部35、ポイント記憶部36を具備して構成される。

#### 【0052】

ネットワーク処理部31は、インターネット等のネットワークに接続され、図示しないメールサーバやウェブサーバからポイント情報を取得する。

#### 【0053】

このネットワーク処理部31は、ポイント情報が電子メールや所定のホームページから送信された場合、つまり、インターネットに対応した携帯電話機2やコンピュータからポイント情報が送信された場合に動作する。

#### 【0054】

データ処理部32は、携帯電話機2に特有のメールやデータ転送方法により送信されてきたポイント情報を取得する。つまり、データ処理部32は特有のデータ転送機能を有する携帯電話機2からポイント情報が送信された場合に動作する。

#### 【0055】

音声処理部33は、購入者の声やプッシュトーン等の音声により送信されたポイント情報を取得する。つまり、音声処理部33は、携帯電話機2や一般の電話機から音声としてポイント情報が送信された場合に動作する。

#### 【0056】

ポイント確認部34は、上述した方法等により、受信したポイント情報の真偽を確認し、真と確認された場合には、さらに当該ポイント情報が未使用のものであるか否かを確認する。これは、購入者の不注意や悪意により同一のポイント情報が複数回送信された場合のための処理である。

#### 【0057】

ポイント処理部35は、ポイント確認部34で、真正で、かつ、未使用であると確認されたポイント情報を、その送信者（購入者）別に管理し、ポイント記憶部36に記憶されているポイント数に、受信したポイント情報のポイント数を加算する。

#### 【0058】

なお、ネットワーク処理部31とデータ処理部32、音声処理部33は、必ずしも全て配設する必要は無く、ポイント情報の送信方法に制限をかけた場合には、一部を省くことができる。例えば、ポイント情報をインターネット接続できる携帯電話機2からのみ送信できるものとすれば、データ処理部32と音声処理部33を省略することができる。

#### 【0059】

ここで、図5を参照してセンタ装置3の動作について説明する。

図5は、センタ装置3の動作の流れを示すフローチャートである。

#### 【0060】

センタ装置3は、ネットワーク処理部31とデータ処理部32、音声処理部33のいずれかでポイント情報を取得すると、ポイント確認部34がポイント記憶部36を参照して、ポイント情報とともに受信した登録名（ポイント情報の送信者の名前で任意に登録されたもの）が実在しているか否かを判定し（ステップ101）、実在していれば（ステップ101でYES）、当該ポイント情報が真正なものであるか否かを確認する（ステップ102）。

#### 【0061】

そして、その確認の結果、ポイント情報が真正なものであれば（ステップ102でYES）、さらに、当該ポイントが未使用なものであるか否かを確認する（ステップ103）。

#### 【0062】

また、確認の結果、当該ポイント情報が未使用のものであれば（ステップ103でYES）、ポイント処理部35がポイント記憶部36に記憶されている該当登録名のポイント数に、受信したポイント情報に基づいたポイント数を加算して（ステップ104）、処理を終了する。

## 【0063】

一方、登録名が実在しないものであった場合や（ステップ101でNO）、ポイントが偽造であった場合（ステップ102でNO）、ポイントが複数回目の使用であった場合には（ステップ103でYES）、異常処理としてポイント数の加算を行わずに（ステップ105）、処理を終了する。

## 【0064】

なお、異常処理では、単にポイントを加算しないだけでなく、該当する登録名での異常処理回数を累積し、所定回以上の異常処理が生じた場合には、当該登録を抹消したりすることも可能である。また、登録名が実在しなかった場合に、新たに登録を受け付けて、その後ステップ102以降の処理を実行するようにしてもよい。

## 【0065】

ところで、自動販売機1では、ポイント情報表示部13がポイント情報を表示するが、この表示を商品の購入者以外の悪意のある第3者が見てポイントの送信を行ったり、ポイントを必要としない購入者に対して表示されたポイント情報を悪用するといった可能性が生じる。

## 【0066】

そこで、自動販売機1にポイント情報の表示の制限を行って、必要最小限だけポイント情報を表示させる場合を説明する。

## 【0067】

図6は、ポイント情報の表示を制限する場合の自動販売機1の処理の流れを示すフローチャートである。

自動販売機1が動作を開始すると、まず、ポイント情報表示部13が表示器を無効に設定し（ステップ201）、返却信号の受信を待つ（ステップ202）。返却信号とは、自動販売機1において硬貨（紙幣）の返却を指示するための返却レバーが動作した場合に発生する信号であり、自動販売機1では、この返却レバーの操作をポイント情報表示の指示として使用する。

## 【0068】

返却信号を受信すると（ステップ202でYES）、ポイント情報表示部13

は、表示器を有効に設定するとともに（ステップ203）、タイマーをセットする（ステップ204）。

#### 【0069】

次に、セットしたタイマーがタイムアウトとなるまでの間に現金が投入されなかった場合には、ステップ201に戻って表示器を無効に設定するが（ステップ205でNO、206でYES）、現金が投入された場合には（ステップ205でYES）、新たに返却信号を受信しない限り（ステップ207）、収金信号の受信を待つ（ステップ208）。

#### 【0070】

ここで、収金信号とは、商品の販売に伴って硬貨処理部15若しくは紙幣処理部16が現金を収容したことを示す信号であり、これにより商品の販売が行われたことを確認することができる。

#### 【0071】

さて、収金信号を受信すると（ステップ208でYES）、ポイント情報生成部12がポイント情報を生成し、ポイント情報表示部13表示器にポイント情報を表示するとともに（ステップ209）、タイマーをセットする（ステップ210）。

#### 【0072】

この後、購入者の返却レバーの操作（表示消去の意思表示）による返金信号の受信があるか、タイマーがタイムアウトするまでの間、ポイント情報を表示し（ステップ211でNO、212でNO）、返金信号の受信（ステップ211でYES）若しくはタイマーのタイムアウトで（ステップ212でYES）、ステップ201に戻り、表示器を無効、つまり、ポイント情報の表示を消去する。

#### 【0073】

このように、ポイント情報の表示を購入者の意思表示により制御するとともに、タイマーによる購入者の無操作に対応することでポイント情報の悪用を防止することができる。

#### 【0074】

次に、この発明の第2の実施の形態について説明する。

図7は、この発明の第2の実施の形態における自動販売機1の構成を示すブロッケ図である。

【0075】

図7に示すように、自動販売機1は、主制御部411とポイント情報生成部412、ポイント情報印刷部413、キーボード端末部414、硬貨処理部415、紙幣処理部416、商品搬送部417、コラム418（418-1乃至418-n）を具備して構成される。

【0076】

主制御部411は、各部を制御して商品の販売やポイントの発行を制御する。ポイント情報生成部412は、主制御部411からの制御信号に基づいてポイント情報を生成し、ポイント情報印刷部413は、ポイント情報生成部412が生成したポイント情報を所定の用紙、例えば、レシート状の用紙に印刷する。

【0077】

キーボード端末部414は、販売する商品の価格等の各種設定を行うものである。硬貨処理部415は、商品の対価となる硬貨の受入や釣り銭の返却を行い、紙幣処理部416は、紙幣の受入等の処理を行う。商品搬送部417は、主制御部411の制御信号に基づいて商品の排出処理を行い、コラム418に格納されている商品の排出を制御する。コラム418は、各々商品を格納している。

【0078】

なお、この第2の実施の形態の自動販売機1においては、ポイント情報を用紙に印刷する点のみが第1の実施の形態の自動販売機1と異なっており、その他の構成は第1の実施の形態の自動販売機1と同様である。したがって、その詳細な説明は省略する。なお、図6を参照して説明した表示制御も、その「表示」を「印刷」と読み替えるだけで第2の実施の形態の自動販売機にも適用することができる。

【0079】

続いて、この発明の第3の実施の形態について説明する。

図8は、この発明の第3の実施の形態における自動販売機1の構成を示すブロッケ図である。

## 【0080】

図8に示すように、自動販売機1は、主制御部511とポイント情報生成部512、ポイント情報送信部513、キーボード端末部514、硬貨処理部515、紙幣処理部516、商品搬送部517、コラム518(518-1乃至518-n)を具備して構成される。

## 【0081】

主制御部511は、各部を制御して商品の販売やポイントの発行を制御する。ポイント情報生成部512は、主制御部511からの制御信号に基づいてポイント情報を生成し、ポイント情報送信部513は、ポイント情報生成部512が生成したポイント情報を携帯電話機2へ送信する。このポイント情報の送信は、携帯電話機2が有する情報機器との通信機能である赤外線通信や、無線通信等を利用して行う。

## 【0082】

キーボード端末部514は、販売する商品の価格等の各種設定を行うものである。硬貨処理部515は、商品の対価となる硬貨の受入や釣り銭の返却を行い、紙幣処理部516は、紙幣の受入等の処理を行う。商品搬送部517は、主制御部511の制御信号に基づいて商品の排出処理を行い、コラム518に格納されている商品の排出を制御する。コラム518は、各々商品を格納している。

## 【0083】

この第3の実施の形態においても、ポイント情報を携帯電話機2に送信する点のみが第1の実施の形態の自動販売機1と異なっており、その他の構成は第1の実施の形態の自動販売機1と同様である。したがって、その詳細な説明は省略する。なお、図6を参照して説明した表示制御も、その「表示」を「送信」と読み替えるだけで第3の実施の形態の自動販売機にも適用することができる。

## 【0084】

なお、上述の各実施の形態では、この発明に係るポイント発行を自動販売機に適用した場合を例として説明したが、レジスター等の他の機器にも適用することができ、これにより、自動販売機で販売した商品と店頭で販売した商品の両者に対してポイントの発行を行うことが可能である。特に、上述の第2の実施の形態で

説明したポイント情報の印刷は、レジスターの場合にはレシートにより行うこと  
が可能である。

【0085】

次に、この発明に係わるプロモーションシステムの詳細構成例について説明す  
る。

【0086】

図9は、この発明に係わるプロモーションシステムの一構成例を示すシステム  
構成図である。

【0087】

図9において、このプロモーションシステムは、屋外または屋内に配置される  
複数の自動販売機610および各種店舗に配設されるレジスタ620をポイント  
発行の対象としている。

【0088】

すなわち、このプロモーションシステムは、自動販売機610の販売商品に対  
する販売促進およびレジスタ620が配設されている店舗の各種商品の販売促進  
を可能にするものである。

【0089】

自動販売機610には、この発明に係わるポイント発行装置611が設けられ  
、レジスタ620にも同様にこの発明に係わるポイント発行装置621が設けら  
れる。

【0090】

ここで、このポイント発行装置611および621は、それぞれ自動販売機6  
10およびレジスタ620に予め内蔵されているものでも、これら自動販売機6  
10およびレジスタ620と別体に製造されてこれら自動販売機610およびレ  
ジスタ620に取り付けられたものでもよい。また、独立したポイント発行装置  
1000であってもよい。

【0091】

このポイント発行装置611および621は、図2に示したポイント情報生成  
部12、ポイント情報表示部13若しくは図7に示したポイント情報生成部41

2、ポイント情報印刷部413若しくは図8に示したポイント情報生成部512、ポイント情報送信部513若しくはこれらの組合せの構成を含むものである。

ここで、図9に示す構成においては、自動販売機610のポイント発行装置611は、この自動販売機610で商品の販売がある毎に、該販売された商品の販売金額、販売数量等に対応するするポイント情報を生成し、このポイント情報をポイント発行装置611に設けられた図示しない表示部に表示する。

#### 【0092】

また、レジスタ620のポイント発行装置621も同様に、このレジスタ620での販売処理がある毎に、その販売金額、販売数量等に対応するするポイント情報を生成し、このポイント情報をポイント発行装置621に接続された図示しない表示部に表示する。

#### 【0093】

また、独立のポイント発行装置1000も同様に、所定の販売処理がある毎に、その販売金額、販売数量等に対応するするポイント情報を生成し、このポイント情報をポイント発行装置1000に設けられた図示しない表示部に表示する。

#### 【0094】

上記ポイント情報には、

- 1) モジュールコード
- 2) シークレットコード

が含まれる。

#### 【0095】

ここで、モジュールコードは、上記ポイント発行装置611、621等を識別するもので、このプロモーションシステムにおいては、このモジュールコードに対応して自動販売機610およびレジスタ620等の状態をデータセンタ653のベンダデータベース（ベンダDB）662で記憶管理するように構成されている。

#### 【0096】

また、シークレットコードには、

- 1) ポイント発行番号

2) ポイント数

3) パリティ

等が含まれる。

【0097】

ここで、ポイント発行番号は、ポイント発行装置611、621等からポイントが発行される毎にそれぞれ発行される連続番号で、このポイント発行番号は、このポイント情報の二重使用のチェックおよび不正使用のチェックを行うために利用される。

【0098】

すなわち、データセンタ653で受け付けたポイント情報のポイント発行番号が既に受け付け済みのポイント情報のポイント発行番号と同一であれば、二重使用と判断し、データセンタ653で受け付けたポイント情報のポイント発行番号が前回正当なものとして受け入れたポイント情報のポイント発行番号から異常に離れている場合は、このポイント情報は不正使用の可能性有りと判断する。

【0099】

また、ポイント数は、販売毎に利用者が取得するポイント数であり、また、パリティは、利用者から送信されるポイント情報が暗号化、復号化プロセスを含む伝送途中で誤りや改竄がないことをチェックするための付加情報で、この付加情報としてはハッシュ関数や巡回符号等を用いることができる。

【0100】

このシークレットコードは、これらの情報を予め記憶された暗号鍵により暗号化することにより生成される。

【0101】

さて、このプロモーションシステムの利用者が、ポイント発行装置611および621からポイント情報を取得する手法の基本は、ポイント発行装置611および621の表示部に表示されたポイント情報を読み取りこれをメモする等により記憶することである。

【0102】

そして、この記憶したポイント情報をプロモーションシステムの利用者が携帯

する携帯電話機630若しくはパーソナルコンピュータ（以下、パソコンという）640に入力して、当該利用者を識別するID（識別情報）と所定のパスワードとともに後に詳述するデータセンタ（図1に示したセンタ装置3に対応する）653に送信する。

#### 【0103】

また、上記手法の容易化を実現するために、このプロモーションシステムにおいては、ポイント発行装置611および621に赤外線通信装置を内蔵させ、この赤外線通信装置を用いて上記ポイント情報の上記携帯電話機630等への入力を容易にしている。

#### 【0104】

また、ポイント発行装置611および621に上記ポイント情報を印字出力する手段を設けてもよい。

#### 【0105】

また、レジスタ620のポイント発行装置621には、このレジスタ620から印字出力されるレシートに、このポイント発行装置621で生成されたポイント情報を印字出力するように構成してもよい。

#### 【0106】

データセンタ653は、インターネット650上のWebサーバとして構築される。

#### 【0107】

このデータセンタ653には、利用者の取得したポイントを利用者IDに対応して記憶管理するポイントデータベース（ポイントDB）661、上記モジュールコードに対応して自動販売機610およびレジスタ620の状態等を記憶管理するベンダデータベース（ベンダDB）662、利用者の個別情報を記憶管理する利用者データベース（利用者DB）663が設けられている。

#### 【0108】

このデータセンタ653に対する利用者の携帯する携帯電話機630からのポイント情報の送信は、携帯電話機630、移動体通信事業者651、インターネット650を介して行われる。

【0109】

また、このデータセンタ653に対する利用者のパソコン640からのポイント情報の送信は、パソコン640、利用者のアクセスプロバイダ652、インターネット650を介して行われる。

【0110】

データセンタ653は、利用者の携帯電話機630若しくはパソコン640からポイント情報を受信すると、まず、利用者データベース663を参照して利用者IDおよびパスワードのチェックを行う。

【0111】

次に、ベンダデータベース662を参照して、モジュールコードのチェックを行う。

【0112】

次に、シークレットコードを復号化して、パリティのチェック、ポイント発行番号のチェック、ポイント数のチェックを行い、このチェック結果に基づきポイントデータベース661を更新する。

【0113】

また、このデータセンタ653は、

- 1) 利用者データベース663の登録、更新に基づく利用者の管理
- 2) ポイントデータベース661に基づくポイントの管理
- 3) ベンダデータベース662の登録、更新に基づくポイント発行装置の管理
- 4) ポイントデータベース661に記憶されたポイントに基づく各種抽選および当選者の管理
- 5) 自動販売機610の管理者およびレジスター620の配設された店舗等に対するマーケティング情報の提供
- 6) 自動販売機610の売上情報、商品および釣銭、故障等の管理等を行う。

【0114】

また、上記インターネット650上には上記ポイントに関するデータセンタ653の決済の代行を行うネットバンク654、自動販売機610の管理者および

レジスタ620の配設された店舗等に対するマーケティング情報の提供のためにデータセンタ653に代わってホームページを配信するホスティングプロバイダ655等が設けられている。

## 【0115】

次に、上記プロモーションシステムの詳細動作を図10乃至図14に示したフローチャートを参照して説明する。

## 【0116】

図10は、図9に示したポイント発行装置（ポイント発行装置611または621）の処理の詳細を示すフローチャートである。

## 【0117】

図10において、ポイント発行装置は、まず、自動販売機610若しくはレジスタ620からポイント発行指示があるかを調べる（ステップ701）。ここで、ポイント発行指示が無いと判断されると、ステップ701へ戻り、ポイント発行指示を持つ。

## 【0118】

ステップ701で、自動販売機610若しくはレジスタ620からポイント発行指示があると（ステップ701でYES）、次に、このポイント発行指示のポイント数は有効かを調べる（ステップ702）。ここで、無効と判断されると（ステップ702でNO）、ステップ702へ戻るが、有効と判断されると（ステップ702でYES）、まず、ポイント発行番号を生成する（ステップ703）。このポイント発行番号の生成は、前回発行したポイント発行番号に1を加えることにより行われる。

## 【0119】

次に、パリティを生成する（ステップ704）。このパリティの生成は、例えば、ステップ703で生成したポイント発行番号と、ステップ702で有効と判別したポイント数との情報をnビット毎に区切って加算し、この値をmで除算した余りを求めるこにより行われる。

## 【0120】

そして、シークレットコードを生成する（ステップ705）。このシークレッ

トコードの生成は、上記ポイント発行番号、ポイント数、パリティを予め記憶した暗号鍵で暗号化することにより行われる。

#### 【0121】

このようにして生成されたシークレットコードは、このポイント発行装置のモジュールコードとともにポイント情報としてこのポイント発行装置に接続された表示部（ディスプレイ）に表示され（ステップ706）、同様に、レシートに印字される（ステップ707）。

#### 【0122】

次に、ディスプレイのポイント情報の提示を制限するためのタイマをリセットし（ステップ708）、このポイント発行装置に上記ポイント情報を出力するための赤外線デバイスがあるかを調べる（ステップ709）。

#### 【0123】

ここで、赤外線デバイスがあると判断されると（ステップ709でYES）、上記ポイント情報（コード）を赤外線で出力する（ステップ710）。

#### 【0124】

そして、次に、タイマがタイムアウトしたかを調べ（ステップ711）、タイムアウトしていない場合は（ステップ711でNO）、ステップ709へ戻るが、タイムアウトしたと判断されると（ステップ711でYES）、ディスプレイの表示を消去し（ステップ712）、この処理を終了する。

#### 【0125】

図11は、ポイント発行装置から赤外線で出力されたポイント情報を携帯電話機630の赤外線受信機能を用いて入力してデータセンタに送信する場合の携帯電話機630の処理を示すフローチャートである。

#### 【0126】

図11において、まず、ポイント発行装置に接続された表示器にコード、すなわちポイント情報が表示されたかを調べる（ステップ801）。ここで、ポイント発行装置に接続された表示器にコードが表示されていないと（ステップ801でNO）、ステップ801へ戻り、該表示器にコードが表示されるのを待つ。

#### 【0127】

ポイント発行装置に接続された表示器にコードが表示されると（ステップ801でYES）、携帯電話機630を赤外線受信状態にする（ステップ802）。

#### 【0128】

そして、携帯電話機630で赤外線を受信したか、すなわち、ポイント発行装置で発行されたポイント情報を赤外線を介して入力したかを調べる（ステップ803）。

#### 【0129】

ここで、赤外線を受信していないと判断されると（ステップ803でNO）、ステップ803に戻り、赤外線によるポイント情報の受信を待つが、赤外線を受信したと判断されると（ステップ803でYES）、次に、この携帯電話機に使用者のIDおよびパスワードを入力し（ステップ804）、データセンタ653へポイント情報を送信する（ステップ805）。

#### 【0130】

図12は、ポイント発行装置に接続された表示器に表示されたポイント情報を携帯電話機630に入力してデータセンタに送信する場合の携帯電話機630の処理を示すフローチャートである。

#### 【0131】

図12において、まず、ポイント発行装置に接続された表示器にコード、すなわちポイント情報が表示されたかを調べる（ステップ811）。ここで、ポイント発行装置に接続された表示器にコードが表示されていないと（ステップ811でNO）、ステップ811へ戻り、該表示器にコードが表示されるのを待つ。

#### 【0132】

ポイント発行装置に接続された表示器にコードが表示されると（ステップ811でYES）、携帯電話機630の利用者は、この表示を見て携帯電話機630にコード、すなわち、ポイント発行装置接続された表示器に表示されたポイント情報を入力する（ステップ812）。

#### 【0133】

そして、次に、この携帯電話機に使用者のIDおよびパスワードを入力し（ステップ813）、データセンタ653へポイント情報を送信する（ステップ814）。

4)。

【0134】

図13は、ポイント発行装置から出力されるレシートの印字に基づきパソコン640にポイント情報を入力してデータセンタに送信する場合のパソコン640の処理を示すフローチャートである。

【0135】

図13において、まず、ポイント発行装置からポイント情報を印字したレシートの印字出力があるかを調べる（ステップ821）。ここで、ポイント発行装置からレシートの印字出力がないと（ステップ821でNO）、ステップ821へ戻り、ポイント発行装置からレシートの印字出力を待つ。

【0136】

ポイント情報を印字したレシートの印字出力があると（ステップ821でYES）、このシステムの利用者は、このレシートを受け取り、後に、このレシートを見て利用者のパソコン640にコード、すなわち、ポイント発行装置のディスプレイに表示されたポイント情報を入力する（ステップ822）。

【0137】

そして、次に、使用者は、使用者のIDおよびパスワードをパソコン640へ入力し（ステップ813）、データセンタ653へポイント情報を送信する（ステップ814）。

【0138】

図14は、上記ポイント情報を受信したデータセンタ653の処理を示すフローチャートである。

【0139】

図14において、データセンタ653は、上記ポイント情報とともに送信される利用者IDおよびパスワードのチェックを行う（ステップ901）。この利用者IDおよびパスワードのチェックは、利用者データベース663を参照して、この利用者IDが登録されているか、パスワードに誤りはないか、この利用者IDがネガティブリストに登録されていないか等により行われる。

【0140】

ここで、利用者IDおよびパスワードは正常であると判断されると、次に、ポイント情報に含まれるモジュールコードのチェックを行う（ステップ902）。このモジュールコードのチェックは、ベンダデータベース662を参照して、このモジュールコードが実在するか、ネガティブリストに登録されていないか等により行われる。

#### 【0141】

ここで、モジュールコードが正常であると判断されると、次に、ポイント情報に含まれるシークレットコードの復号化を行う（ステップ903）。

#### 【0142】

そして、シークレットコードの復号化が終了すると、まず、パリティからチェックする（ステップ904）。

#### 【0143】

そして、パリティが正常であると、次に、ポイント発行番号をチェックする（ステップ905）。このポイント発行番号のチェックは、二重使用ではないか、直前に同一モジュールで発行されたポイント発行番号と大きく離れた番号でないか等により行われる。ここで、このポイント発行番号が、直前に同一モジュールで発行されたポイント発行番号と大きく離れた番号であるとすると、不正使用の疑いがある。

#### 【0144】

ステップ905のポイント発行番号のチェックにおいて正常であると判断されると、次に、ポイント数のチェックを行う（ステップ906）。このポイント数のチェックは、例えば、このポイント数が上限値を越えていないか等により行われる。

#### 【0145】

ポイント数のチェックにより、ポイント数も正常であると判断されると、次に、現在の時刻を取得し（ステップ907）、ポイント数の調整を行ない（ステップ908）、この調整した情報をポイントデータベース661に記録して（ステップ909）、この処理を終了する。

#### 【0146】

なお、ステップ901で、利用者ID、パスワードに異常があると判断された場合、若しくは、ステップ902で、モジュールコードに異常があると判断された場合、若しくは、ステップ904で、パリティに異常があると判断された場合、若しくは、ステップ905で、ポイント発行番号に異常があると判断された場合、若しくは、ステップ906で、ポイント数に異常があると判断された場合は、異常終了する。

#### 【0147】

#### 【発明の効果】

以上説明したように、この発明によれば、商品の販売に伴ってポイントを発行することで商品の販売促進を行うプロモーション方法において、商品の販売に際して所定のポイントを表わす暗号化されたポイント情報を利用者に提示し、該利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともにセンタ装置へ送信し、前記センタ装置は、該送信された暗号化されたポイント情報を解読して該ポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理し、該利用者に対応して記憶管理されたポイントに基づき前記利用者に対して所定のサービスを提供するように構成したので、ポイントの発行、収集、回収などの管理が容易となりポイント発行を介在した有用なプロモーションシステムを構築することができるという効果を奏する。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【図1】

この発明を自動販売機に適用した場合のプロモーションシステムの概略構成を示すブロック図である。

#### 【図2】

この発明の第1の実施の形態における自動販売機の構成を示すブロック図である。

#### 【図3】

図1に示したプロモーションシステムにおけるポイント情報を説明するための図である。

#### 【図4】

図1に示したセンタ装置の構成を示すブロック図である。

【図5】

図1に示したセンタ装置の動作の流れを示すフローチャートである。

【図6】

ポイント情報の表示を制限する場合の自動販売機の処理の流れを示すフローチャートである。

【図7】

この発明の第2の実施の形態における自動販売機の構成を示すブロック図である。

【図8】

この発明の第3の実施の形態における自動販売機の構成を示すブロック図である。

【図9】

この発明に係わるプロモーションシステムの一構成例を示すシステム構成図である。

【図10】

図9に示したポイント発行装置の処理の詳細を示すフローチャートである。

【図11】

ポイント発行装置から赤外線で出力されたポイント情報を携帯電話機の赤外線受信機能を用いて入力してデータセンタに送信する場合の携帯電話機の処理を示すフローチャートである。

【図12】

ポイント発行装置のディスプレイに表示されたポイント情報を携帯電話機に入力してデータセンタに送信する場合の携帯電話機の処理を示すフローチャートである。

【図13】

ポイント発行装置から出力されるレシートの印字に基づき携帯電話機にポイント情報を入力してデータセンタに送信する場合の携帯電話機の処理を示すフローチャートである。

## 【図14】

ポイント情報を受信したデータセンタの処理を示すフローチャートである。

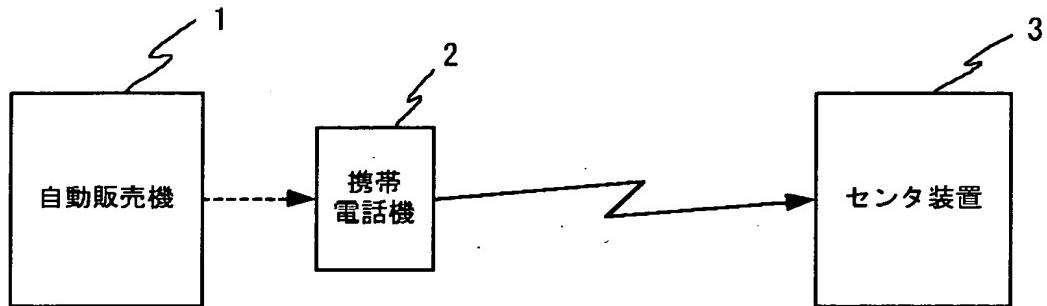
## 【符号の説明】

- 1 自動販売機
- 2 携帯電話機
- 3 センタ装置
- 1 1 主制御部
- 1 2 ポイント情報生成部
- 1 3 ポイント情報表示部
- 1 4 キーボード端末部
- 1 5 硬貨処理部
- 1 6 紙幣処理部
- 1 7 商品搬送部
- 1 8 (1 8 - 1 ~ 1 8 - n) コラム
- 3 1 ネットワーク処理部
- 3 2 データ処理部
- 3 3 音声処理部
- 3 4 ポイント確認部
- 3 5 ポイント処理部
- 3 6 ポイント記憶部
- 4 1 1 主制御部
- 4 1 2 ポイント情報生成部
- 4 1 3 ポイント情報印刷部
- 4 1 4 キーボード端末部
- 4 1 5 硬貨処理部
- 4 1 6 紙幣処理部
- 4 1 7 商品搬送部
- 4 1 8 (4 1 8 - 1 ~ 4 1 8 - n) コラム
- 5 1 1 主制御部

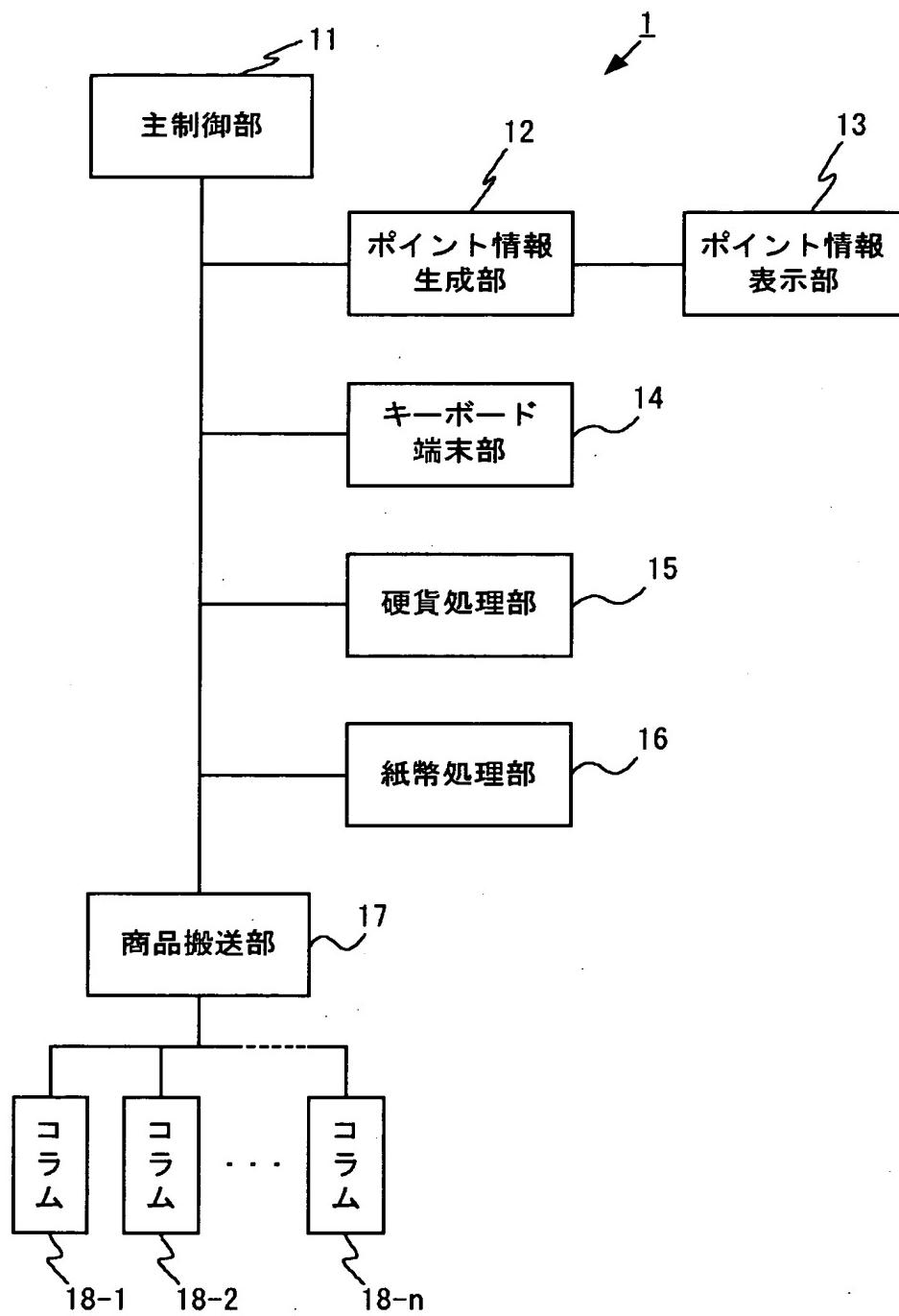
- 512 ポイント情報生成部
- 513 ポイント情報表示部
- 514 キーボード端末部
- 515 硬貨処理部
- 516 紙幣処理部
- 517 商品搬送部
- 518 (518-1~518-n) コラム
- 610 自動販売機
- 611 ポイント発行装置
- 620 レジスター
- 621 ポイント発行装置
- 630 携帯電話機
- 640 パソコン
- 650 インターネット
- 651 移動体通信事業者
- 652 アクセスプロバイダ
- 653 データセンタ
- 654 ネットバンク
- 655 ホスティングプロバイダ
- 661 ポイントデータベース
- 662 ベンダデータベース
- 663 利用者データベース

【書類名】 図面

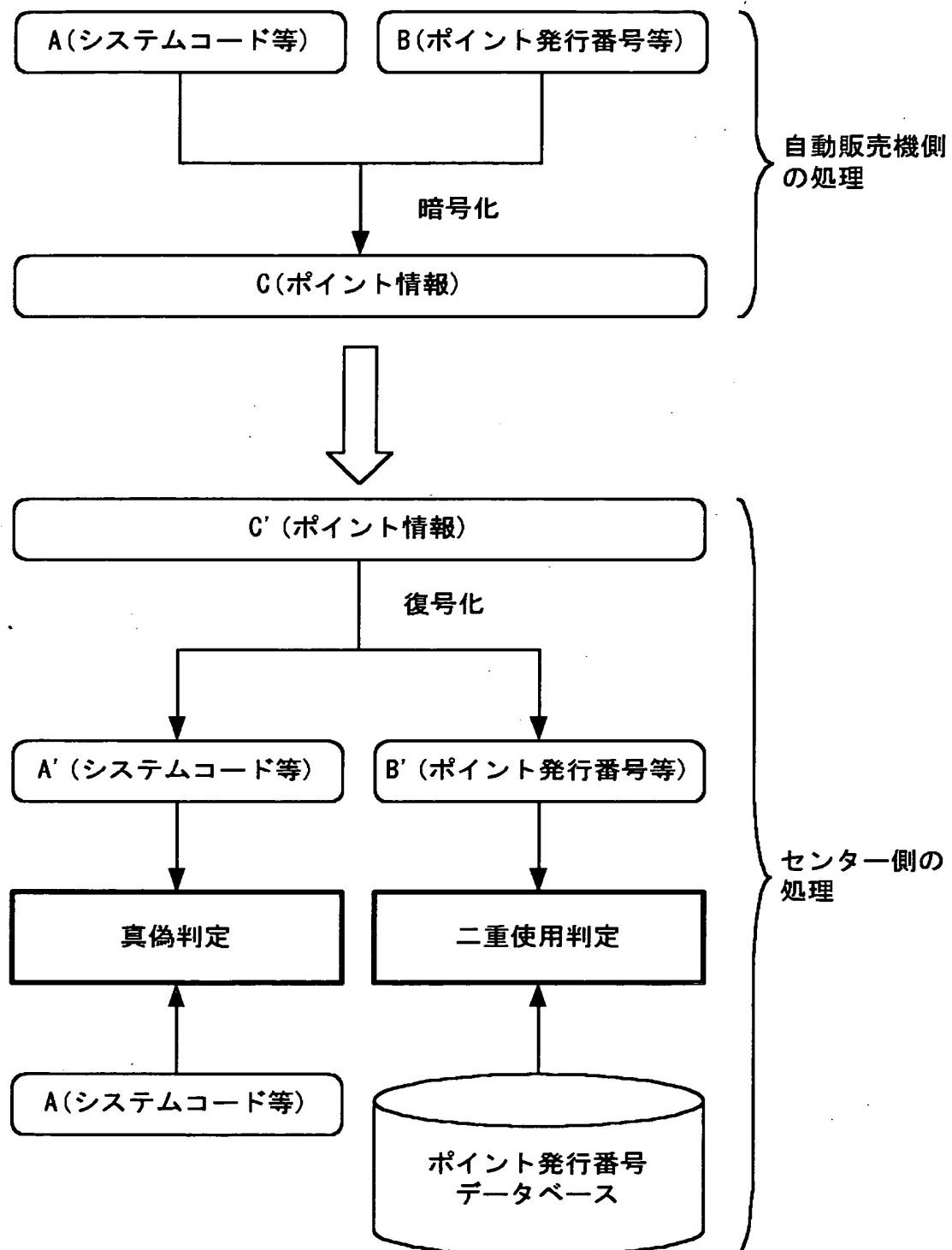
【図1】



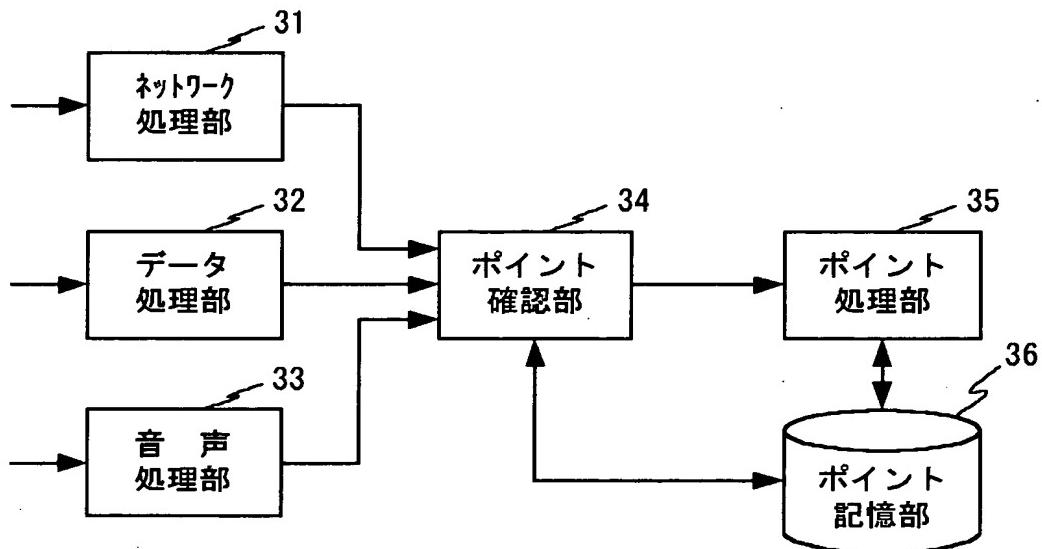
【図2】



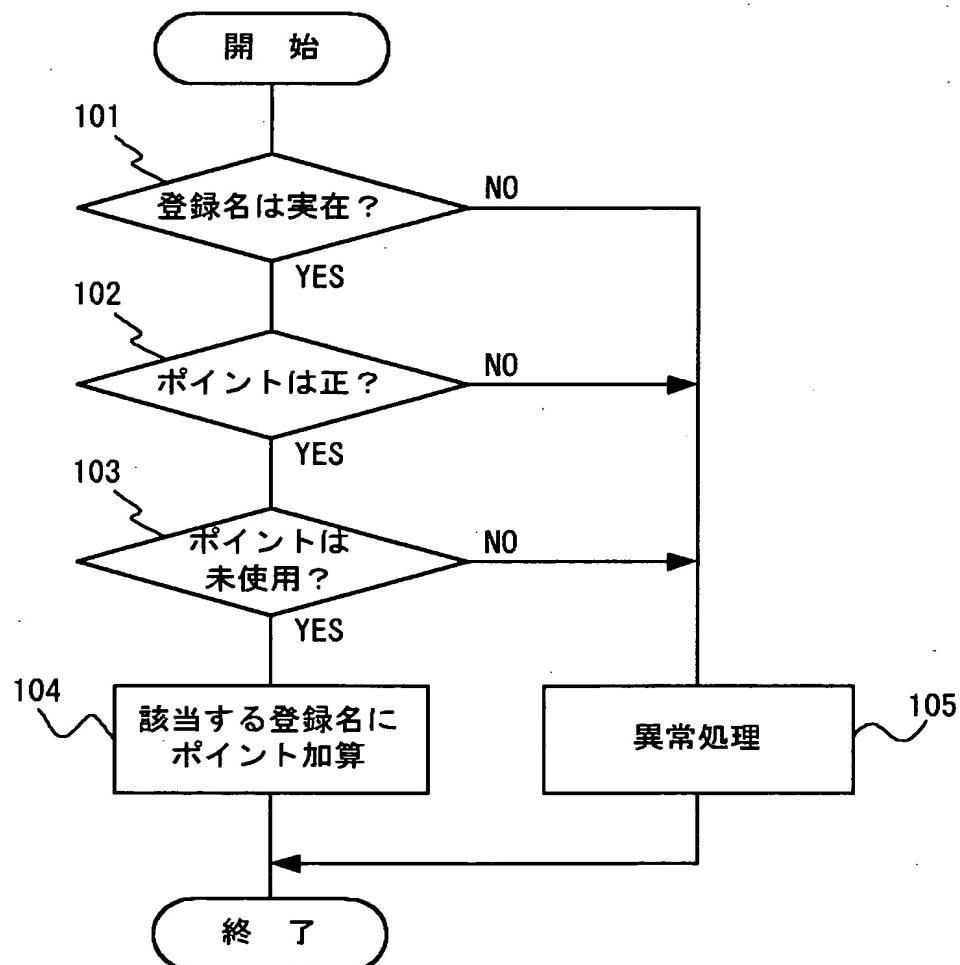
【図3】



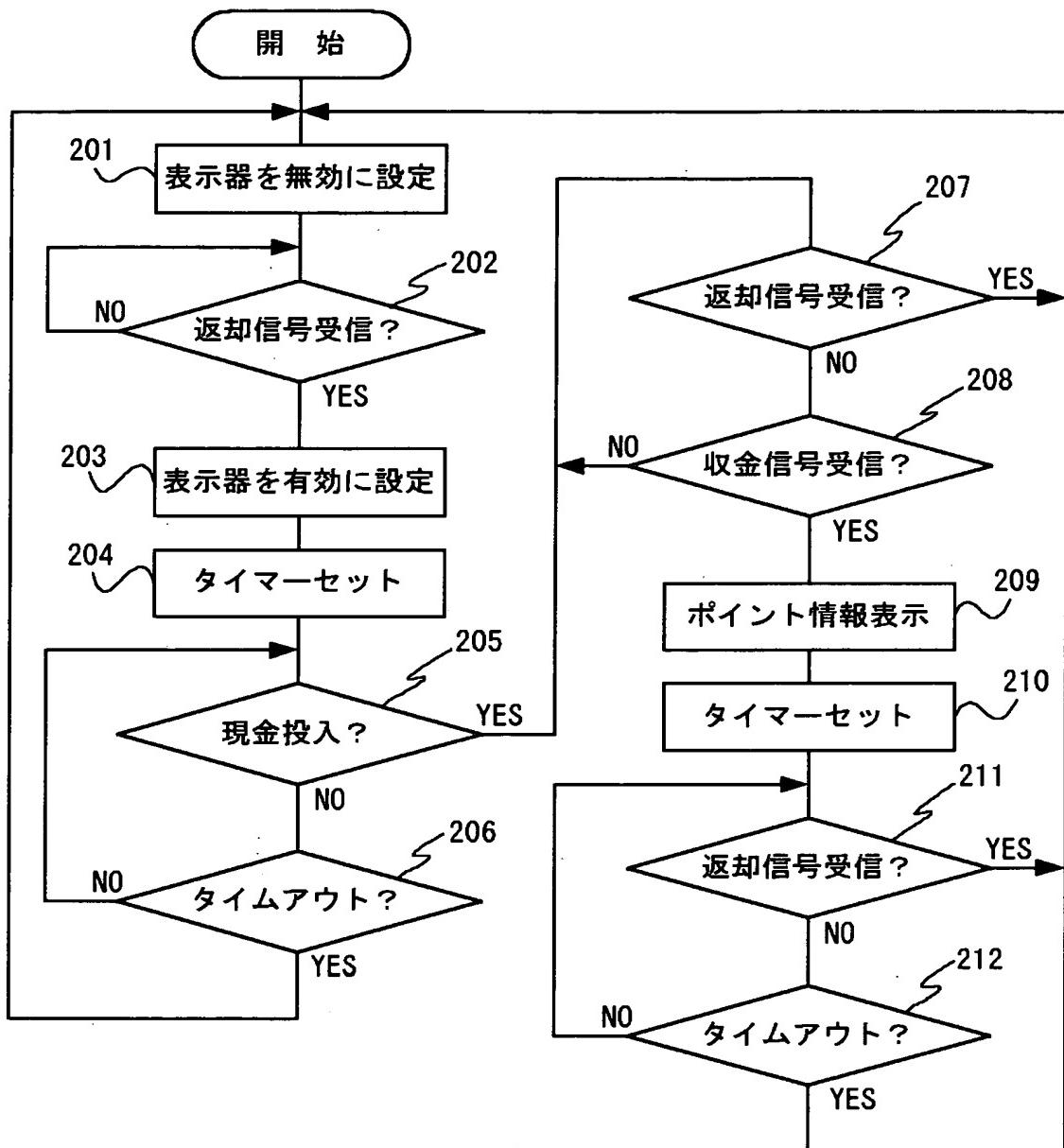
【図4】



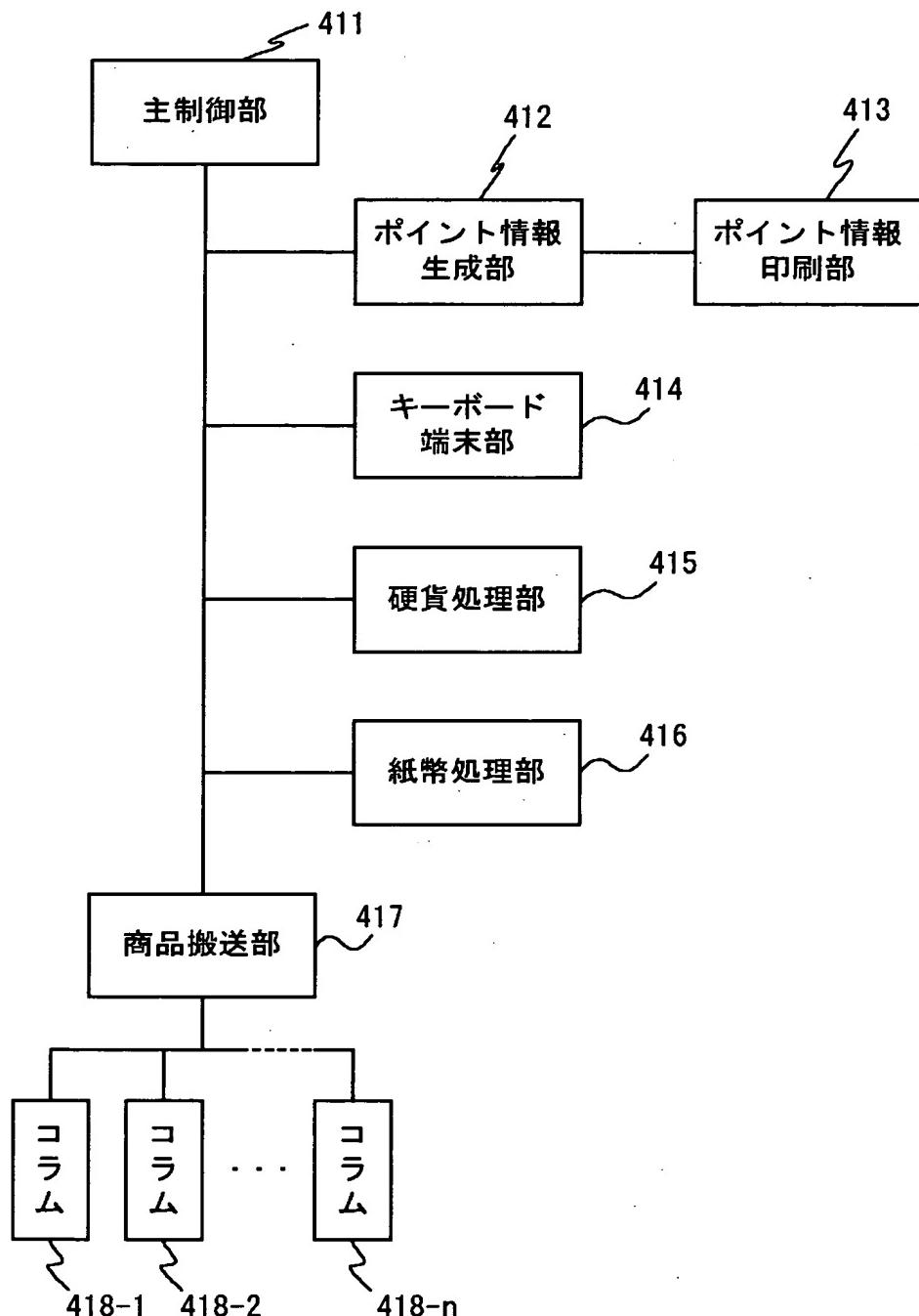
【図5】



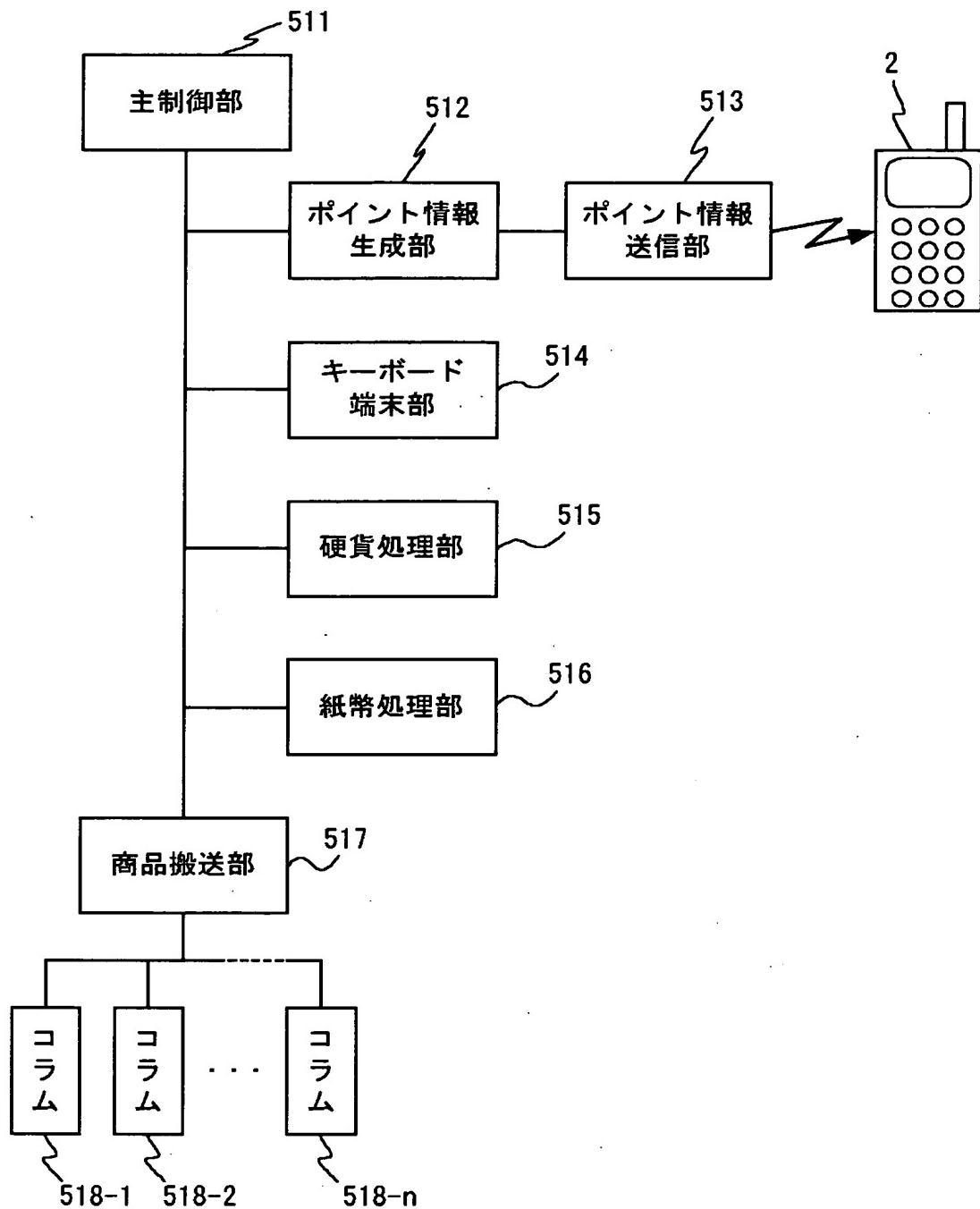
【図6】



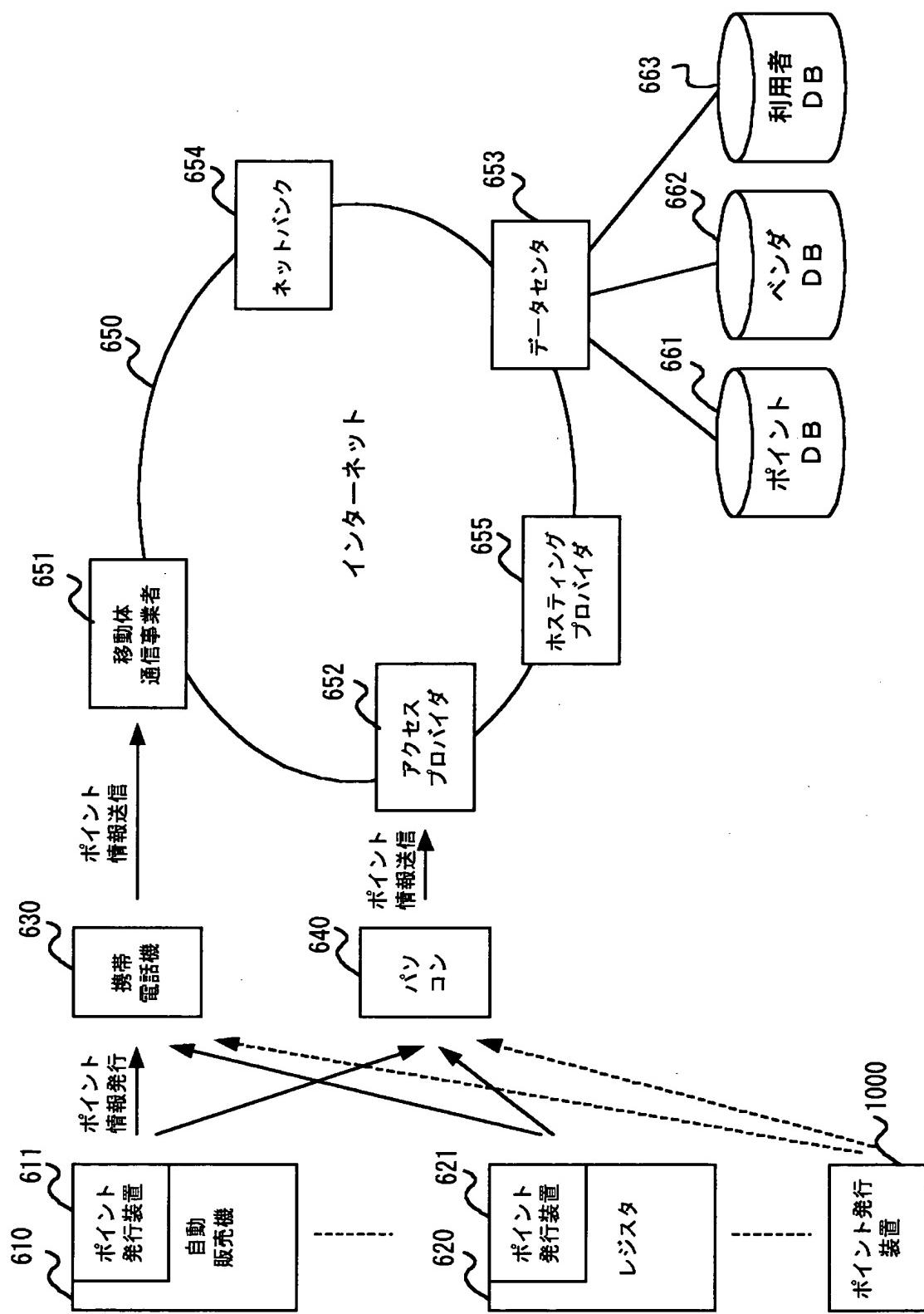
【図7】



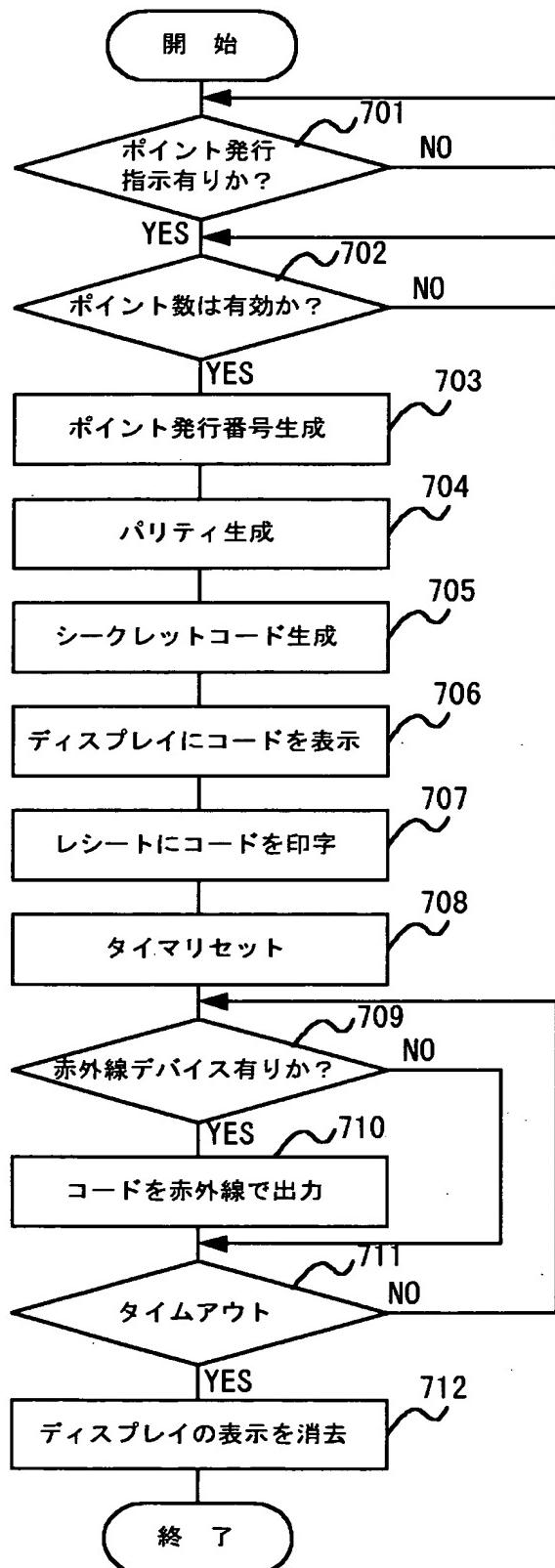
【図8】



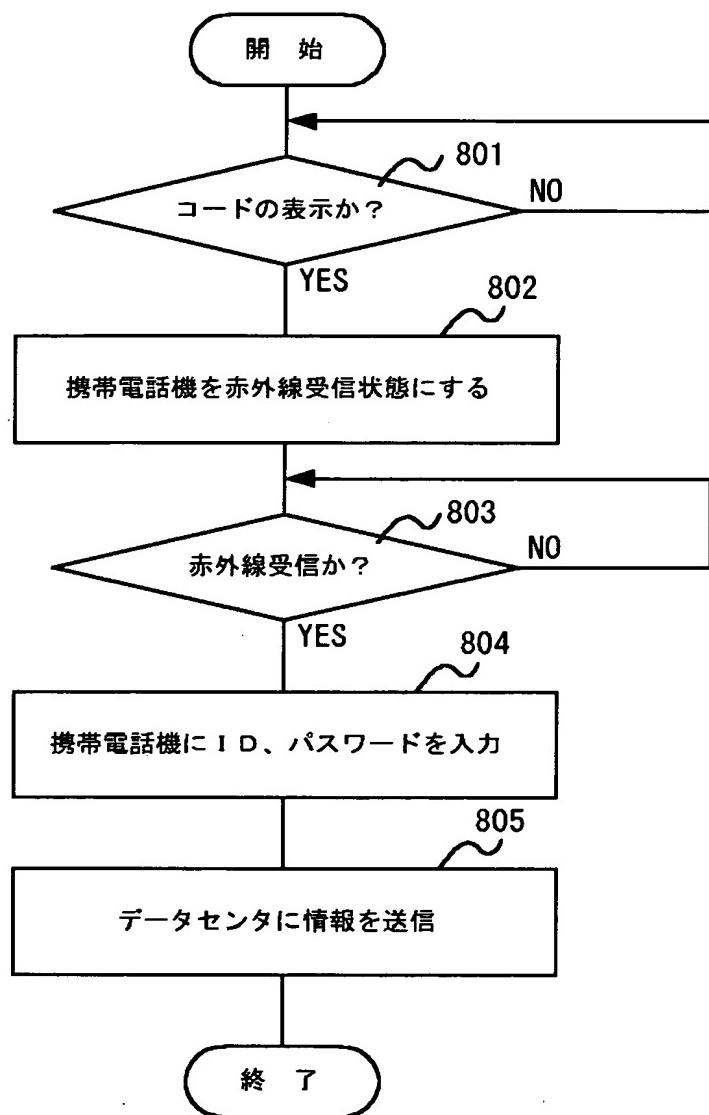
【図9】



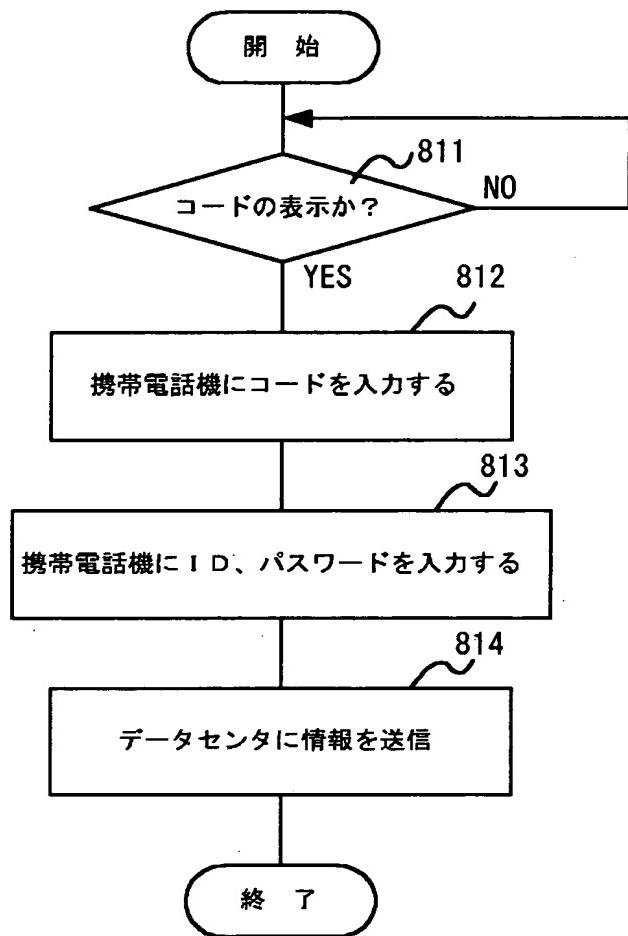
【図10】



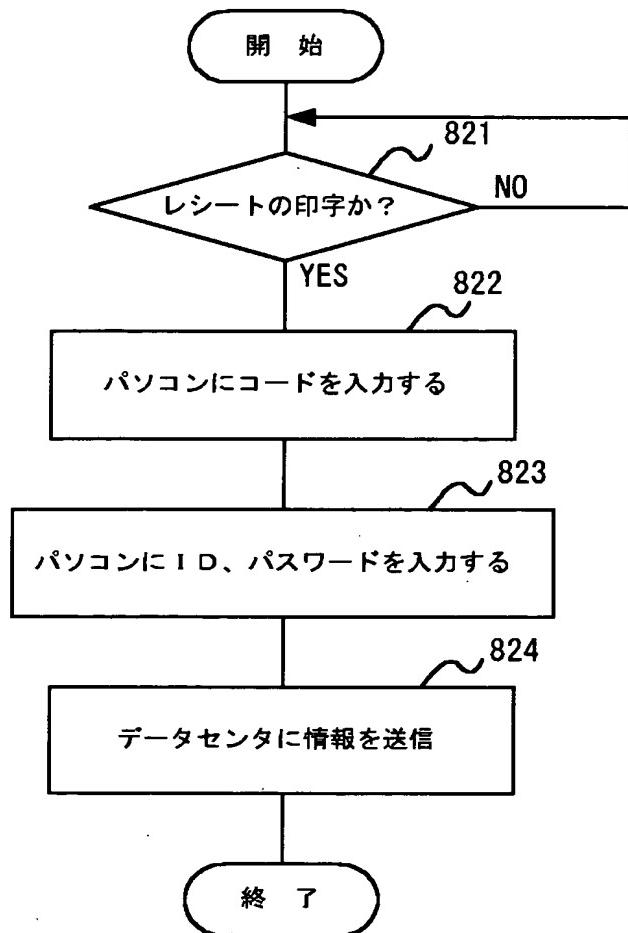
【図1-1】



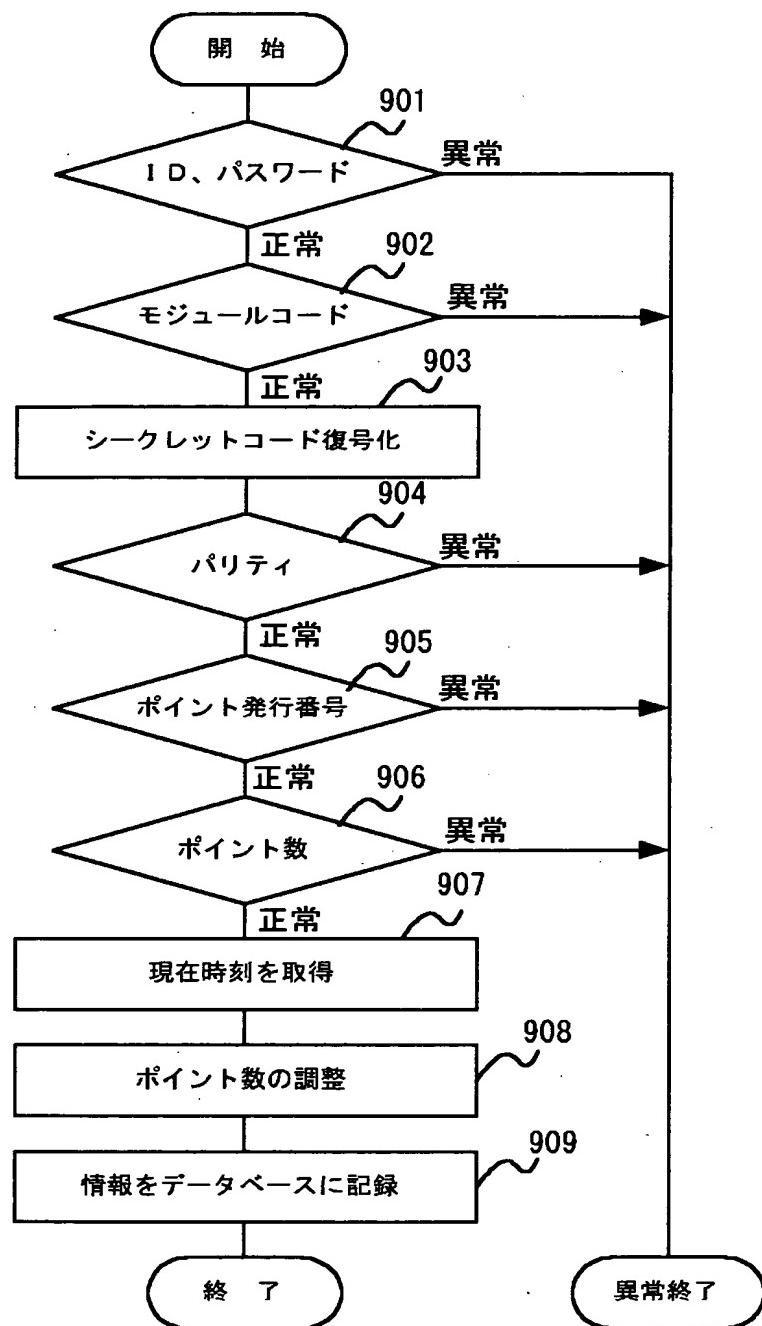
【図12】



【図13】



【図14】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ポイントの発行および収集、回収、集計の各処理を容易に行うことのできるプロモーション方法およびシステムを提供する。

【解決手段】

自動販売機1での商品の販売に際して所定のポイントを表わす暗号化されたポイント情報を利用者に提示し、利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の携帯電話機2を用いて該利用者識別情報とともにセンタ装置3送信し、センタ装置3、該送信された暗号化されたポイント情報を解読して該ポイント情報に対応するポイントを利用者に対応して記憶管理し、該利用者に対応して記憶管理されたポイントに基づき利用者に対して所定のサービスを提供する。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000152859]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区内幸町2丁目2番2号  
氏 名 株式会社日本コンラックス